壱 号八十第≪外号増念記伝正Q阿≫ 報 公 大 二期昼 日弐廿弐月弐拾年卯丁和昭

祝阿Q正伝開館!

阿Qはアジアの季節風ぞ!

【ダンシングクレージー大賞】本日、当会場において第三回ダンシングクレージー大賞に輝いた菊地亜矢子さんに「可愛らしいリボン」が

ついに阿Q史上最大の規模と内容を誇る「阿Q正伝」の開幕なのだ。客演にドクトル梅津氏を迎えるなんて驚きっ♡そして舞台には愛と幻想の七色カクテルライトが飛び交って阿Qの四人はマンハッタン・モンキーになる。きっと、みんなが今までにみたことない歌謡オンステージ。というわけで遂に全国津々浦々の阿Qフリークが待ちに待った「阿Q正伝」の開幕だ。これだけの大ホールで阿Qが演奏するのを喉から手が出るほど（しかしノドから手が出てきたら超一流のフリークスだ）欲した阿Qファンも多いはずです。

しかし実は、諸手を挙げて喜ぶ心境でない阿Qフリークも多いかも。だけど、けして「阿Qが私からだんだん遠くへ離れていってしまうようで……」と悲しみに耽って手首にナイフをあてたりしないでほしい。マンヂュウさんの等身大人形をつくって、それと自分を

赤い腰巻きでくくり伊豆の海に投身自殺もしないでほしい。命は一度でも落としてしまったら、もう桑原桑原なのだ。

この二年の成果がこの市民会館大ホールとなる。参観者の諸君もきっと緊張しているはずだ。さぁ手のひらに人という字を三回書いてゴックンと飲んで息を止めよう。そして一、二、三……と意識を失うまでに息を止めてごらん、ほら、スーッと楽になるでしょ。

前で弾き語りしてる子、きれいな目してるんだ」って云うから行ってみたら、タラコちゃん、ギター一本で雨がゴージャスに降るなか歌ってるじゃない。驚もバーブルだったから、日本の敗戦にも驚かなかったミーが驚いたの……。

そしてタラコちゃん、次にミーがタラコちゃんのソウル、感じたのがロイク……あらゴメンなさい……日本人にない黒人の音、もっ

ダイアナさんの家の前で

のコヨーテよ。それくらいローズはいかしてたの。

だけどタラコちゃん、タラコちゃんの7thは世界で勝負できるわ。いま、ミーのところでダンスのレッスンしてる福生キャンプの黒人兵もね、タラコちゃんの曲で軽快にサルサのタップ踏んでたんだけど、7thのブレイクで合いの手がはいる「あひの駒形、浮世の船にぃ～」って節まわしのところ、あそこでサーッて、10dbくらい動けなくなったのよ。東京ローズもそこまではできなかったわ。

そんなタラコちゃんが仙台に戻るって云った時、ミーは泣いたの。電話のそばで笑っているあの娘をだしてよ、どーせ私なんて遊びだったんでしょ……ってレイコみたいに泣いたの。

だけど、今はもうミーは平気。ミーにはサルサがあるボサノバがある、毎日練習場にやって来る兵隊達がいる。ミーの涙なんて、汗と一緒に流れ出てしまえ、ドント・カムバック涙……なのよ。

タラコちゃん、仙台市民会館おめでとう。いつの日かミーは、タラコちゃんのバックで七色のカクテルライトを浴びて踊りたいの。だから、精進して頂戴。ミーは待っているわ。毎朝毎朝、コップ一杯の黒酢を飲んでるのよサンセット大通り。連絡待ってるわ（談）

特別寄稿

東京ローズも私が育てたのよ、タラコ

ダイアナ幼卸木（六十八才・ブロダンサー）

タラコちゃん、仙台市民会館大ホールでのワンマン開催、本当におめでとう。ミーのマインドから祝福するわ、コングラッチュレーション。

ミーが始めてタラコちゃんに会って六年かしら。及川ちゃんが福生のキャンプで極放の……あらゴメンなさい、横田基地のFENでバイトしてた頃の紹介だから半？いや違うわ、らもう七年？いや六年よ、そう六年。及川ちゃんが「ゲートの及川審査委員長より手渡される。そして及川委員長は今夜も厳正な視線を会場に向けている。しっかり踊ってシンデレラになるのはキミだ。

I Believe My Babeなんて云えない

阿Q

魅惑のダンスバンド

普段の阿Qはダンサポップだ。ハードルンバなる阿Q独特の踊りが阿Q好きの若者の間に定着している。8ビートで拳を空に突き上げるのに慣れた若者にとって阿Qのダンス音楽は新鮮に踊れる。

そんな阿Qは86年の1月、仙台で結成された。そして夏には12インチ盤「MASAMUNE」を自主制作し年内に1000枚を完売してしまった。最初は阿Q音楽に戸惑った若者たちも盲目が慣れると阿Qフリークと化してしまい3ヶ月毎に定期開催した仙台でのワンマンでは350名の参観者を獲得、87年に入ると3枚組ソノシートを発表し「太平天国」なる秋葉結社で阿Qフリークを組織し「大公報」なる自由民権新聞も定期発行。ロックバンドの範疇から逸脱した阿Q独特の活動展開を続けてきた。

そして3000名に及ぶ再発署名が集まっていた「MASAMUNE」は5月にキティレコードからリリースされ、仙台に限られていた活動域も青森から東京までにひろがり、この年は48都市66公演を経験。若者ばかりか、むかし太陸族だった世代も、裕ジュンがマドンナだった世代も阿Qで踊るのだった。

このレコオドはそんな阿Qが贈るバラード。普段は「ヘイ、ダーンシン'ノ」とやっている阿Qが、そればかりぢゃない、純な想いに耽る、阿Qの別な阿Qを描いてる「I Believe My Babeなんて云えない」夜更けて独り静かに聴くも好し、カーステレオで聴くも好し、自分がいちばん落ち着けるレナュエイションで耳を傾けていただきたい。 合 掌

恋人たちが楽しむ とっておきの土曜の夜
だけど僕はひとりスタジオで
わがままに夢を追いかけ
きっと君は不安だろう
いつも君の瞳がうるやいて

もっともっと よくあるよね
もっともっと普通の恋
だってだって離れてゆく
僕はひとり 夢追いかけて

I believe my babe so baby
I believe my babe
そんな言葉もかけれない 心せつなくて
I believe my babe so baby
I believe my babe
いつか君にもわかるだろう
言葉なくしても Someday

微夜で疲れた声の 電話で済ますデートに
あきれかえる君が図に浮かぶ
恋と夢は別なもの
勝手ないいぐさだけど
わかりあえる君でいてほしい

きっときっと僕の夢で
きっときっといつの日か
ずっとずっと君ひとりを
強く抱いて この手で抱きしめて

I believe my babe so baby
I believe my babe
そんな言葉もかけれない 今は悲しくて
I believe my babe so baby
I believe my babe
いつか君にもわかるだろう
言葉なくしても someday……

Kitty

といろわけで阿Q正伝ファーたる、これまで阿Q、仙台を中心とした三年間集中攻撃ーで、阿Qフリーク諸君もこれまで以上に協力を得て開催することのできた阿Q正伝なります。本当にありがとうございましたー。

今年は阿Q、本当に恵まれた一年でーた。一日のソーシート販売から、たった一年で、夜もの公演まで来ることの阿Qペースで頑張ります。春までには何か大きなことが発表できるかもしれません。大公報を注目していて下さい。

時に、太平天国の各支国をお願いします。国王となり大いに報を注期郵送されるのが最も確実な阿Q情報入手手段です。

今年はまさにありがとう、です。これからも貌支発歩阿Qを世界をエンジョイーていきたいと思います。

阿Q一同